

## 水道水中の有機フッ素化合物（PFAS）の検査結果について

### ■有機フッ素化合物（PFAS）とは

有機フッ素化合物（PFAS）とは、炭素とフッ素の結合を持つ有機化合物であり、1万種類以上の物質があるとされています。

PFASの中でも、PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）とPFOA（ペルフルオロオクタン酸）は、幅広い用途で使用されてきました。具体的にはPFOSについては、金属メッキ処理剤、泡消火剤などに、PFOAについては、フッ素ポリマー加工助剤、界面活性化剤などに主に使われてきました。

しかし、自然界で分解されにくく、水などに蓄積することが分かったほか、人の健康に影響を及ぼす可能性が指摘されているため、現在では国内での製造や使用は禁止されています。

### ■東神楽町の検査結果

東神楽町では、町内全ての配水池で「PFOS及びPFOA」についての水質検査を実施しました。

検査の結果「PFOS及びPFOA」の測定値は、いずれの配水池でも国が定める暫定目標値（50ng/L）を下回り、定量下限値である（5ng/L）よりも低い値となっています。

※ng（ナノグラム）は、g（グラム）の10億分の1（50ng/L）=（0.00005mg/L）

### 水質検査結果表（PFOS及びPFOA）

水道施設	PFOS及びPFOA	検査日
東聖配水池	5ng/L 未満	10月18日
さくら配水池	5ng/L 未満	10月18日
中央配水池	5ng/L 未満	10月18日
緑町配水池	5ng/L 未満	10月18日
かつら配水池	5ng/L 未満	10月18日